

がん医療フォーラム 香川 2018

がんになっても幸せに暮らそう

～ちゃんと決めまい自分のこと～

第1部

がん患者さんを支える 情報づくりと地域づくり

がんの在宅療養

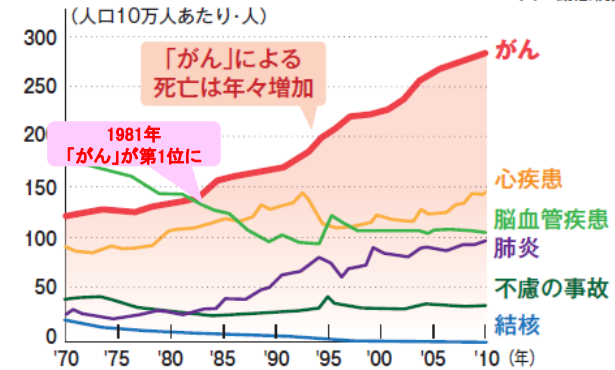


帝京大学医学部内科学講座 腫瘍内科
渡邊 清高

2018年3月3日
かがわ国際会議場

がんになる人はどのくらいいるの？

主な死因別にみた死亡率の年次推移 厚生労働省／人口動態統計



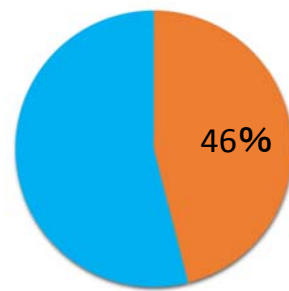
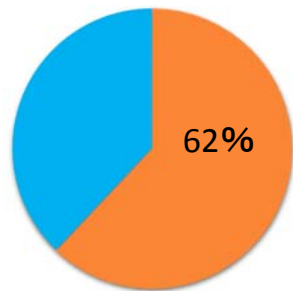
年間37万人の方ががんで亡くなり、
1年間で86万人の方が新たにがんと診断されています。
(死亡 2016年データ、罹患 2013年データ)

生涯累積発がんリスク

日本人の2人に1人ががんになる

男性

女性

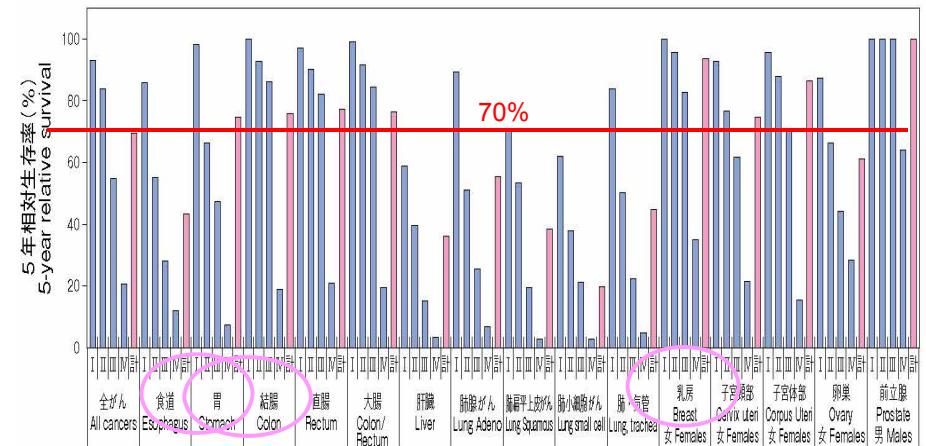


生涯でがんに罹患する確率 (2013年)

国立がん研究センター
がん対策情報センターによる推計値

医療の進歩→患者と家族を支える社会へ

がんの5年生存率(2006-2008 診断治療症例)
全国がん(成人病)センター協議会(全がん協)



胃がん・大腸がん・乳がんは5年生存率が70%をこえている
がんの統計'16

がん情報サービス

(国立がん研究センター
がん対策情報センター)

<http://ganjoho.jp/>

がん情報 検索



インターネット

患者さんの支え:情報



手にとれる手引き

心構え
療養のヒント
生活支援
用語集



手帳、記録

わかったこと
わからないこと
聞きたいこと



地域の情報

身近な地域の医療機関
相談窓口

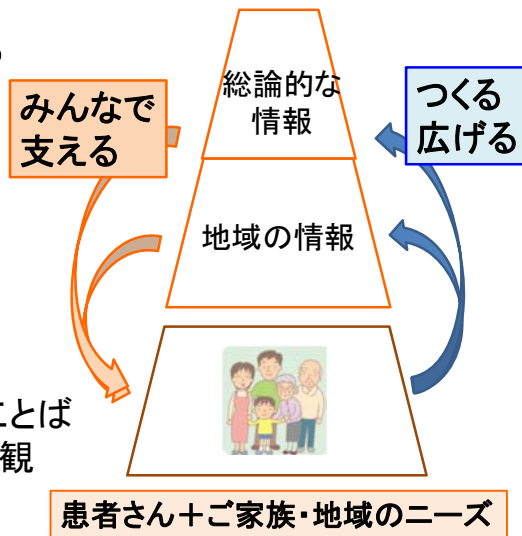
書籍・手帳 患者必携 がんになったら手にとるガイド
学研メディカル秀順社 2013年
インターネット「がん情報サービス」でも無料で閲覧可

がん患者さんとご家族を支える社会

医療・介護・療養を支える

地域の医療
緩和ケア
在宅医療
社会資源
患者会・ボランティア団体

歴史・風土・文化・教育・ことば
気候・風俗・家族観・死生観



がん患者さん・ご家族向け「地域の療養情報」の作成

38道府県で公開 のべ83冊作成・更新(2018年2月)



地元の相談員、ソーシャルワーカー、
看護師、医師、患者さんとご家族の
アイデアで作成・更新されています

在宅療養を支える情報

内容についてのご意見

- ・本人との**コミュニケーションの取り方**がわかる
- ・**家族のケア**のやり方、最期のときの様子がわかる
- ・気持ちが動転しているときに、**大変役立つ内容**
- ・**心の準備**ができる、気持ちの余裕を取り戻せる

届け方についてのご提案

- ・**手に取るタイミング**が非常に重要。自他ともに受けとめる時期が良いのでは
- ・病院、在宅医、訪問看護ステーション、薬局など、**目に触れる機会**を増やすことが大切

3回シリーズ がんの在宅療養パンフレット



がん医療フォーラム 香川 2018

がんになっても幸せに暮らそう

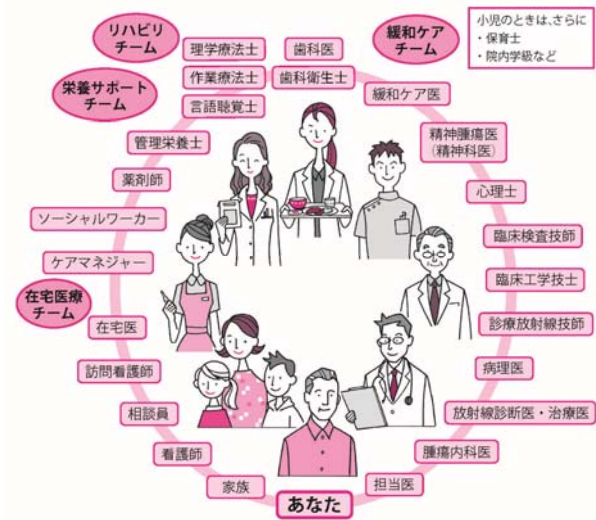
～ちゃんと決めまい自分のこと～

ACP (Advance Care Planning) とは、
今までの**人生の過ごし方**、
生活、価値観などを**共有**し、
患者さんの**希望や生活を尊重**しながら、
将来の状態変化にも**備える**ことをいいます。

フォーラムに期待すること

- **がん患者さんが住み慣れた場所で過ごすために**
 - ・ACPについて学びたい、活かしたい
 - ・がんの**治療をしながら働く方**への配慮について、**社会で整備**されていく様子を感じる
- **がんになっても幸せに暮らすための準備**
 - ・地元でどんな**支援**が得られるか、**自分自身ができること**を考えたい
- **患者を取りまくコミュニケーション**
 - ・主治医との**コミュニケーション**の取り方を知りたい

顔の見える関係から 患者さん・ご家族とともに歩む地域づくりを



チーム医療のイメージ

患者必携
がんになったら手にとるガイド
(国立がん研究センター
がん対策情報センター)



アンケートへのご協力をお願い

- お答えいただいた結果は、よりよい緩和ケア・療養支援の取り組みを普及していくための資料にさせていただきます。
- フォーラム終了後、出口で回収させていただきます。

